

知立市 マスコットキャラクター ちりゅっぴ

誕生日
12月1日

ちりゅっぴは知立市が大好きな男の子。かきつばたの飾りをつけた馬バーカーを着て、かつてたくさん旅人が旅した鎌倉街道や馬市のあった東海道の歴史を伝える。ベストには市章の刺繡がほどこしてある。あんまきボーチには知立市の魅力がたくさん詰まっている、心優しいのんびりや。



知立
-Chiryu City-



ちりゅっぴサポーターズ大募集中！

ちりゅっぴを応援してくださる方々による団体です。ちりゅっぴやその活動を応援していただける方のお申込みをお待ちしております。



詳しく述べ



個人会員
プレミア
個人会員
企業・団体
会員

入会してくれると
特典があるよ♪

アクセス情報

電車でのルート

- JR「名古屋駅」下車、名鉄本線乗り換え「知立駅」下車（所要時間：約20分）
- JR「三河安城駅」下車、タクシー（所要時間：約10分）
- 中部国際空港から空港バス「知立駅」行き（所要時間：約60分）
- 中部国際空港から名鉄特急「金山駅」乗り換え「知立駅」下車（所要時間：約50分）

※「知立駅」から市役所までは徒歩約15分です。
ミニバス、タクシーもご利用いただけます。

車でのルート

- 伊勢湾岸道豊田南ICから国道155線「豊田南バイパス」を知立方面へ。宝町南交差点を右折。（所要時間：約15分）



知立市観光 ガイドマップ



知立を 楽しもう！

愛知県にある知立市には、隠された魅力がいっぱい詰まっています。玉手箱のようなこの街をぜひ楽しんでください。



目次

市内名所	1-6
まちあるき	7-8
お土産・グルメ	9-10
イベント	11-12
地図	13-14

〒472-8666

愛知県知立市広見3丁目1番地

TEL: 0566-83-1111

HP: <https://www.chiryu-kanko.com>



知立市役所



知立市観光協会



発行:知立市
2025.11.3,000

ロマンあふれる知立の歴史を見!



かきつばた&八橋周辺史跡

無量壽寺

むりょうじゅじ

臨濟宗妙心寺派に属しており、山号は「八橋山」で、寺号は「無量壽寺」です。敷地内には、八橋かきつばた園や八橋史跡保存館があるほか、八橋古碑などの史跡を見ることができます。

毎年4月下旬から5月中旬にかけて行われる「史跡八橋かきつばたまつり」では、尾形光琳作「燕子花図屏風(複製)」、「八橋蒔絵螺鈿硯箱(複製)」、「長線(再現品)」が展示されます。

かきつばたずびょうぶ
燕子花図屏風(複製)やつはしまきらでんすずびよこ
八橋蒔絵螺鈿硯箱(複製)ちゃんせん
長線(再現品)

Column

方巖壳茶翁

ざいげんじ
方巖壳茶翁肖像/無量壽寺蔵

宝曆10年(1760)に福岡藩士の三男として生まれました。幼くして両親に先立たれて仏門に入り、京都の妙心寺での修行を経て僧となりました。京都の相国寺の大典禪師に師事し、大典禪師を通じて初代壳茶翁高遊外の生き方や煎茶道について学び、茶を売りながら諸国を巡歴しました。

文化2年(1805)に八橋を訪れ、当時荒れ果てていた在原寺を再興し、その後無量壽寺に入寺しました。

八橋かきつばた園

八橋は、古くよりかきつばたの名勝地として知られてきました。園内には大小16の池があり、毎年見頃の時期にあわせて「史跡八橋かきつばたまつり」が開催されます。



八橋古碑

やつはしこひ

おぎょううそらい
萩生祖孫に学んだ秋本鶴夷や、その門人
こぶしきく
国分伯機らによって建てられました。碑文は
難解なことで有名です。



杜若姫供養塔 (宝篋印塔)

業平を恋い慕っていた杜若姫は、業平の東下りの際、はるばる都上その跡を追い、八橋までたどり着きましたが、業平はすでに八橋を発つたあとでした。杜若姫は悲観の余り八橋の地で入水し、亡なったと伝えられます。

在原業平像

ありわらのなりひらぞう

伊勢物語の主人公といわれている在原業平が、東下りの途中、八橋にさしかかり、かきつばたが一面に咲き乱れているのを見て【からこも キツツナれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしづおもふ】と詠んだ歌は、句頭に「かきつばた」の5文字を入れていることで有名です。



来迎寺一里塚

らいこうじいちらづか

一里塚は、慶長9年(1604)に江戸幕府の命により、1里(=約4km)毎の目安として設置されました。知立では塚の上に松が植えられており、全国的にも珍しく両塚が残っています。

一里塚の周辺には、来迎寺など史跡が残り、歴史の積み重ねを感じさせます。

在原寺



落田中の一松





知立神社と祭り、史跡



秋葉まつり あきばまつり

「秋葉まつり」は毎年9月中旬の日曜日に行われます。昼間は、市内6町(山町・山屋敷町・中新町・本町・西町・宝町)の若衆が玉箱を担ぎ、長持唄を歌いながら威勢よく町内を練り歩きます。夕方になると知立神社に宮入りし、勇壮な手筒花火を奉納します。

若衆が手筒花火に付けられた縄の握り手をつかんで円陣をつくると、一斉に花火に点火します。燃え上がる炎は、高さ7mを超えます。



知立神社

ちりゅうじんじゃ

社伝によると景行天皇の頃112年の創建、三河の国二の宮。江戸時代には池鯉鮒大明神と呼ばれて日本各地に分社を持つ名社です。

境内の「多宝塔」は国の重要文化財であり、扁額・舞楽面・能面・獅子面など県及び市指定の文化財15点があります。



知立公園 花しょうぶ園

ちりゅうこうえんはなしょうぶえん

知立公園は、明治天皇ならびに昭和天皇御遺愛の花しょうぶを昭和31年、同32年、同35年の3回に渡り明治神宮より下賜されました。知立神社をはさんで東公園と西公園があり、5月中旬頃には公園一面に見事な花を咲かせます。



知立古城跡 ちりゅうじょうあと

かつて、刈谷城主水野忠重が「御屋形」を建て、織田信長を饗應しました。

江戸時代初期には、「御殿」として將軍が上洛する際の休泊施設として使用され、水野勝成や松平忠房がその増築に関わりました。

しかし、元禄期の地震で倒壊したと言い、その後は再建されませんでした。現在は児童遊園として整備されています。



総持寺 そうじ

伝教大師作の阿弥陀仏をまつる本地堂を、慈覚大師(円仁)が嘉祥年中(848~851)に建立したのが始まりといわれています。

江戸時代には、知立神社の別当寺院として機能し、明治時代に一時廃寺となりましたが、昭和2年(1927)に現在の地で再興されました。

境内の一堂には、かつて知立神社の多宝塔内に安置されていた「愛染明王坐像(市指定文化財)」が祀られています。

知立まつり ちりゅうまつり

知立神社の例祭である「知立まつり」は、毎年5月2日・3日に、本祭り(ほんまつり)と間祭り(あいまつり)が隔年で行われます。本祭りで奉納される5台の山車は絢爛で目を見張るものがあります。

山車の上で上演される「山車文楽とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。



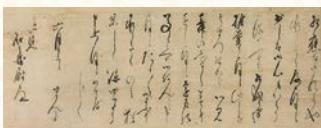
Column

家康公側室・お万の方と永見貞愛

お万の方は、知立神社の神主家・永見貞英の娘で、徳川家康の正室・築山殿に仕えたとされています。のちに双子の子を授かって家康の側室となり、双子のうちひとりの永見貞愛は、知立神社の神主となりました。

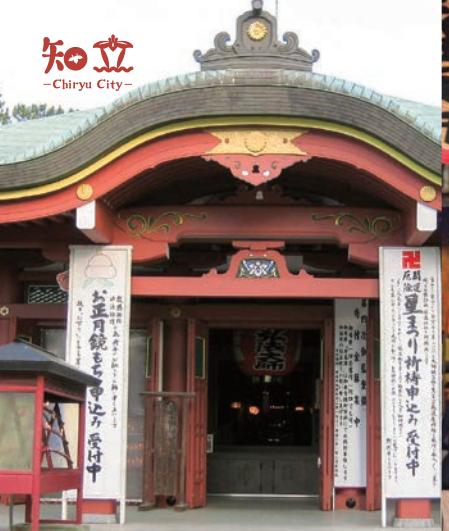
永見貞愛は体が弱く、お万の方の兄・永見貞親に引き取られました。天正

19年(1591)に知立神社の神主職を継ぎ、その際に家康から冠・装束・信国銘の太刀・濃州長勝銘の鎧を授かりました。残念ながら貞愛は、慶長9年(1604)に31歳の若さで死去しますが、同年に書かれたと思われる母・お万の方からの書状の写が知立神社に残っており、そこには病身の貞愛を案じてお見舞いの品を送ったことが記されています。この書状の写は、毎年5月中旬から6月上旬に開催される「知立公園花しょうぶまつり」の期間にあわせ、知立神社にて公開されます。



お万消息写(消息=書状)／知立神社蔵





知立弘法山遍照院 ちりゅう こうぼうさんへんじょういん

三河三弘法第1番札所である遍照院には、弘法大師の自像三体のうちの一体「見返弘法大師」と呼ばれる本尊が祀られており、2番札所は刈谷市一ツ木町の西福寺、3番札所は刈谷市一里山町の密藏院となっています。

毎月、旧暦21日の命日に参道に多くの店が出て、参拝客などで賑わいます。



弘法さんの歴史と賑わい



寺の市

弘法発展会が遍照院にて行うマルシェです。毎月第3日曜日の午前9時から午後1時まで開催されます。

遍照院を含めた周辺地域の活性化を目的として、平成23年に「軽 trope づく市」としてはじまり、令和元年9月にリニューアルを経て現在の「寺の市」となりました。

とれたての野菜や果物、干物、手作りのアクセサリーや雑貨、陶芸品、工芸品などが販売され、多くの人が賑わいます。



知立弘法山遍照院 ちりゅう こうぼうさんへんじょういん

三河三弘法第1番札所である遍照院には、弘法大師の自像三体のうちの一体「見返弘法大師」と呼ばれる本尊が祀られており、2番札所は刈谷市一ツ木町の西福寺、3番札所は刈谷市一里山町の密藏院となっています。

毎月、旧暦21日の命日に参道に多くの店が出て、参拝客などで賑わいます。

その他史跡・施設



…史跡…

養正館 ようぜいかん

明治18年に明治用水土工事務所として建設され、その後大正3年に私立愛知工芸学校、大正9年には私立岡崎工芸学校、私立知立裁縫女学校が建物を使用しました。廃校後の昭和10年に知立神社境内に移転され、現在の名称に改められました。



根上りの松 ねあがまつ

根が2mほど持ち上がっていことから名付けられ、鎌倉街道の傍らに往時の賑わいを偲ぶように立っています。根本には「鎌倉街道之跡」の碑があり、碑陰には阿仏尼の「十六夜日記」の一節が刻まれています。



八橋伝説地 やつはしでんせつち

『伊勢物語』の主人公とされる在原業平の伝供養塔(写真)があり、業平の分骨が収められているといわれています。



内藤魯一像 ないとうろいちぞう

内藤魯一は、福島藩の家老の家に生まれ、明治維新後福島から当地に移りました。重原藩(旧福島藩)の大参事として士族授産に奔走し、その後、自由民権運動を推し進め指導的役割を果たしました。



…施設…

知立市観光交流センター

観光案内所として観光情報を提供するほか、イベントの開催やちりゅうびグッズをはじめとしたお土産品の販売を行っています。



開館時間 午前9時00分～午後5時00分

休館日 毎週火・水曜日(祝日は開館)、年末年始

知立市歴史民俗資料館

東海道五十三次の池鯉鮒宿のジオラマ・西中遺跡群の出土品など、知立の歴史と文化を知る貴重な資料を展示しています。



開館時間 午前9時00分～午後5時00分

休館日 毎週月曜日(祝日は開館)、第4金曜日(祝日の場合はその前日)、年末年始

八橋史跡保存館

八橋史跡保存館には、八橋かきつばたの歴史や文化にまつわる数十点の文化財が保存されています。



開館時間 午前9時00分～午後4時00分
(史跡八橋かきつばたまつり期間のみ午後5時00分まで)

休館日 7月1日～3月31日の全期間、4月1日～6月30日の間の月・金曜日(史跡八橋かきつばたまつり期間は無休)

知立市文化会館

知立市文化会館は、ホールを備えた文化施設です。ロビーでは山車文楽・からくりを展示しているほか、施設の一角では山車を見ることができます。



開館時間 午前9時00分～午後10時00分

休館日 每週月曜日(祝日の場合は、翌日が休館日)、年末年始

歴史的な観光名所

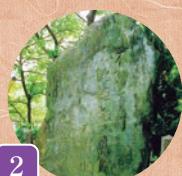
東海道を歩こう!

知立は、かつて東海道の品川宿から数えて39番目の宿場町「池鯉鮒宿」として多くの旅人が行き交いました。かつての街道近隣を中心に、歴史や文化などを楽しむことができます!

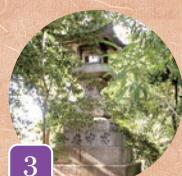
その魅力が認められ、宿場のあった地域を含む散歩みちの「東海道宿場散歩みち」は、新日本歩道紀行100選「文化の道」のひとつとして選定されています。



1 知立神社／多宝塔



2 芭蕉句碑(知立神社内)



3 常夜灯(知立神社内)



4 知立古城跡

三河国二宮として知られる名社です。また、江戸時代には薬除けの神として祀られたほか、雨乞い・安産の神としても知られました。境内にある国指定重要文化財の多宝塔も趣深いです。

石碑に刻まれた「不斷たつ池鯉鮒の宿の木綿市」は、芭蕉が詠んだ句です。かつて池鯉鮒宿で木綿市が開かれ、賑わっていたことを表しています。

かつて東海道の街道筋にあった常夜灯です。現在は知立神社の大鳥居付近にあり、旅人たちを照らした往時を偲ばせます。



5 池鯉鮒宿本陣跡



6 池鯉鮒宿問屋場跡



7 馬市の碑



8 知立松並木

Column

東海道宿場散歩みち

「東海道宿場散歩みち」を散策して、知立の歴史や文化を感じてみてください♪

■コース詳細

- 無量寿寺(スタート) → 八橋かきつばた園 → 明治用水緑道遊歩道 → 山車藏
- 知立松並木 → 池鯉鮒宿本陣跡 → 山車藏
- 知立古城跡 → 知立神社(ゴール)



まちあるき

とっておきの
おみやげ・グルメ

知立のとっておきの特産品やグルメを厳選してご紹介します!
知立に来たら、ぜひお立ち寄りください♪

thirty nine cafe

0566-84-3378



39番目の宿場町に
ちなんだ店名と
おしゃれな外観が目印。
日替わりのキッシュなど
おすすめメニューのほか
季節のスイーツも人気です!



〒472-0023 知立市西町4
営業時間:平日9:00~土日8:00
~L.O10:45(モーニング)、
11:00~L.O14:30(ランチ)、
15:00~L.O17:30(カフェ)
定休日:水曜日、第1・3火曜日
交通機関:名鉄知立駅から徒歩
約7分
駐車場:16台

Column
知立巡り



令和7年度よりスタート!どこにいても
知立市を楽しめる!!

詳細は二次元コードから



AR技術で季節に関係なく
かきづたが咲かせられる!
他にもたくさん!'

和牛ハンバーグe-café

080-1616-8182

自慢のニンニクと
わさびのオリジナルソースが
味わい深いハンバーグや
ふわふわのオムレツが乗った
トマトソースのハンバーグがおすすめです!

トマトソースの
ハンバーグとろろオムセット

お店オリジナルハンバーグととろろのオムレツ、
甘味と酸味がちょうどよいトマトソースが最高にマッチします!

〒472-0012

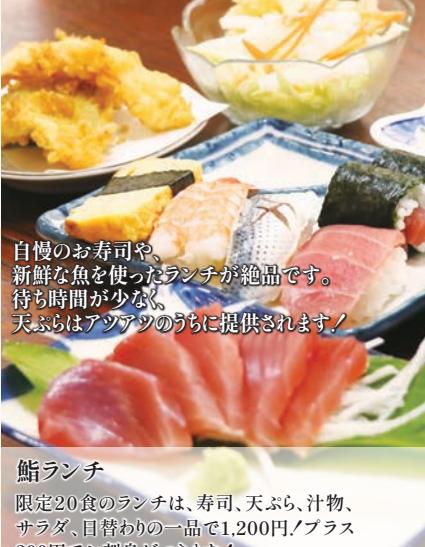
知立市八ヶ田町久根ノ内58

営業時間:9:00~15:00、金曜日のみディナー18:00~21:00

定休日:不定休

交通機関:名鉄牛田駅から車で約4分

駐車場:6台



自慢のお寿司や、
新鮮な魚を使ったランチが絶品です。
待ち時間が少ない、
天ぷらはアツアツのうちに提供されます!

鮨ランチ

限定20食のランチは、寿司、天ぷら、汁物、
サラダ、目替わりの一品で1,200円/プラス
200円でお刺身がつきます!

ひろ寿司

0566-82-2000



〒472-0017
知立市新林町新池38-12
営業時間:11:30~14:00、
17:00~21:00
※夜は予約制。
定休日:月曜日
交通機関:東刈谷駅から
徒歩約18分
駐車場:12台

知立ブランド認定特産品取扱い店 地元に愛されるスイーツや特産品はお土産にもぴったり♪

株式会社藤田屋



大あんまき

所在地	〒472-0006 知立市山町小林24-1
連絡先	0566-81-1284
定休日	無休
営業時間	8:00~20:00

大あんまき

廻鮮江戸前すし魚魚丸



馬肉どて煮

所在地	〒472-0056 知立市宝3丁目14-2
連絡先	0566-83-4499
定休日	無休
営業時間	平日 11:00~21:00 土日祝 11:00~22:00

馬肉どて煮

ギフト座丸八



ちりゅっぴぬいぐるみ

所在地	〒472-0033 知立市中町105
連絡先	0566-81-0018
定休日	火曜日、水曜日
営業時間	10:00~19:00

ちりゅっぴぬいぐるみ

太田屋米穀店



ちりゅっぴあんこもち

所在地	〒472-0041 知立市新地町東新地51
連絡先	0566-81-0498
定休日	日曜日
営業時間	9:00~19:00

ちりゅっぴあんこもち

株式会社米蔵家



だっこ~クィーン

所在地	〒472-0003 知立市牛田2丁目65
連絡先	0566-81-3128
定休日	日曜日、祝日、第2土曜日
営業時間	10:00~19:00

だっこ~クィーン

ホテルクラウンパレス知立 ティーラウンジ オーキッド



ラ・ボアトリース

所在地	〒472-0033 知立市中町128
連絡先	0566-85-1004
定休日	不定休
営業時間	11:00~16:00

ラ・ボアトリース

仲両口屋本舗



ちりゅっぴまん

所在地	〒472-0007 知立市牛田町東裏96-2
連絡先	0566-81-0450
定休日	火曜日、第3月曜日 (夏期第1月曜日)
営業時間	9:30~17:30

ちりゅっぴまん

知立マコモ研究会



まこもだけのまぜごはんの素

所在地	〒472-0026 知立市上重原町本郷67
連絡先	0566-81-3817
定休日	不定休
営業時間	お電話でお問い合わせください。

まこもだけのまぜごはんの素

三河両口屋喜泉



池鯉鮒野

所在地	〒472-0047 知立市新富1丁目35-1
連絡先	0566-81-0728
定休日	火曜日、第2・4月曜日
営業時間	9:00~17:30

池鯉鮒野

小松屋本家



あんまき

所在地	〒472-0023 知立市西町西83
連絡先	0566-81-0239
定休日	火曜日
営業時間	8:00~19:00

あんまき

ボイゲル



ちりゅっぴ缶

所在地	〒472-0044 知立市広見2丁目57番地
連絡先	0566-81-0754
定休日	不定休
営業時間	9:30~12:30, 13:30~16:00 ※要予約

ちりゅっぴ缶

ボイゲル



令和7年時点の情報です。

イベント年間カレンダー

名称	時期	場所
弘法さんの縁日	毎月/ 旧暦21日	知立弘法山遍照院
寺の市	毎月/ 第3日曜日	知立弘法山遍照院
史跡八橋かきつばたまつり	4月下旬 ~5月中旬	八橋かきつばた園
知立まつり	5月2日・3日	知立神社
知立公園花しょうぶまつり	5月中旬 ~6月中旬	知立公園花しょうぶ園
知立よいとこまつり	8月下旬	市役所周辺
秋葉まつり	9月中旬	知立神社
フォトコンテスト	通年	各部門ごと
ちりゅっぴお誕生日会	11月下旬	文化会館
知立ドリーム イルミネーション	12月上旬 ~下旬	新地公園



フォトコンテスト

知立まつり

初夏を飾る一大風物詩で、1年おきに本祭りと間祭りが行われます。

本祭りで奉納される「知立の山車文楽とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。



弘法さんの縁日

毎月、旧暦21日の弘法大師命日には、参道に多くの店が立ち並びます。



寺の市

弘法発展会が弘法山遍照院にて行うマルシェです。毎月第3日曜日の午前9時から午後1時まで開催されます。



史跡八橋 かきつばたまつり

史跡八橋かきつばたまつりは、約70年前から続く祭りです。祭り期間中はいつでも花を観賞することができます。



秋葉まつり

若衆が威勢よく町内を練り歩き、夕方には知立神社に玉箱や手筒花火を奉納します。



知立公園 花しょうぶまつり



知立公園の花しょうぶは過去に明治神宮より下賜されたもので、明治天皇ならびに昭憲皇太后御遺愛の名品60種が植えられていました。



知立よいとこまつり

知立の夏の風物詩である「知立よいとこまつり」。市民総出を合言葉に盆踊りや花火大会などを楽しめます。



知立ドリーム イルミネーション

知立の冬の風物詩である「知立ドリームイルミネーション」。光に彩られた会場は、別世界のような空間です。

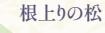


知立市の全体MAP

知立神社



八橋かきづばた園



豊田市

三河八橋

逢妻川

蓬莱川



無料のレンタサイクル
サービスもあります!

レンタサイクルで自転車
での散策も可能です。

受付場所

- ①知立市役所
(8:30 ~ 17:00まで)
- ②知立市駅前駐車場
(8:30 ~ 19:00まで)

地図

アイコン一覧

- 寺
- 神社
- レンタサイクル
- お土産 (詳細はP.10にて)
- グルメ (詳細はP.9にて)

知立弘法山遍照院

